

平成30年度 第1回 すながわ移住定住促進協議会 次第

平成30年4月17日午前10時
砂川市役所3階 中会議室

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報告事項

(1) 会員の交代等について

(2) 平成29年度活動報告について

4. 協議事項

(1) 平成30年度事業計画(案)について

5. その他

(1) 砂川市の住宅補助金制度について

(2) 移住定住に関する民間企業の取り組みについて

6. 閉 会

3. 報告事項

(1) 会員の交代等について

【会員の交代】

- ・ 一社) 砂川青年会議所 増田拓也 → 同 齊藤邦宏
- ・ 砂川市 商工労働観光課長兼土地開発公社業務課長 山下克己 → 同 為国修一
- ・ 砂川市 土地開発公社業務課副審議監兼業務係長 岩淵真里子
→ 土地開発公社業務課業務係長 青野英樹
- ・ 砂川市 建築住宅課長補佐兼住生活支援係長 中山智宏
→ 建築住宅課住生活支援係長 中村 洋

【部会長の交代】

- ・ 情報宣伝部会長 一社) 砂川青年会議所 増田拓也 → 同 池内一也
- ・ 受入体制部会長 砂川商工会議所青年部 鯨坂好弘 → 同 前田秀紀

○すながわ移住定住促進協議会 役員及び会員名簿

(平成30年4月1日現在)

	役職	部会	氏名	職業	所属団体	役職
1	会長		北谷 武文	サンワ産業(株)	宅地建物取引業者	
2	副会長	生活支援部会	岡本 昌昭		砂川市町内会連合会	副会長
3	部会長	情報宣伝部会	池内 一也	(有)池内商店	一社)砂川青年会議所	直前理事長
4	//	受入体制部会	前田 秀紀	花いた	砂川商工会議所青年部	会長
5	//	生活支援部会	中村 和弘	中村時計眼鏡店	砂川商店会連合会	副会長
6	会員	情報宣伝部会	齊藤 邦宏	(有)空知損害保険会社	一社)砂川青年会議所	理事長
7	//	//	田村 英規	田村興業(有)	砂川商工会議所青年部	副会長
8	//	//	前田 秀紀	花いた	砂川観光協会 (後任者決定次第、前田氏と交代)	
9	//	受入体制部会	小田 繁喜	水島建設工業(株)	建設業者	
10	//	//	澤崎 賢司	(株)サワケン	宅地建物取引業者	代表取締役
11	//	//	奥山 一枝	農業	すながわスイートロード協議会	企画部会
12	//	//	多比良和伸	タヒラ・デンタルクリエーション	すながわスイートロード協議会	企画部会
13	//	生活支援部会	田中 聡秀	田中旅館	砂川旅館組合	副組合長
14		情報宣伝部会 受入体制部会	為国 修一	砂川市役所	商工労働観光課 土地開発公社 業務課	課長
15	//	情報宣伝部会	奥山 雅喜	//	商工労働観光課 商工観光係	課長補佐兼係長
16	//	受入体制部会	青野 英樹	//	土地開発公社 業務課管理係	係長
17	//	//	金丸 秀樹	//	建築住宅課	課長
18	//	//	渋谷 正人	//	建築住宅課 建築指導係	副審議監兼係長
19	//	//	中村 洋	//	建築住宅課 住生活支援係	係長
20	//	//	野田 勉	//	農政課	課長補佐

砂川市

事務局	熊崎 一弘	砂川市役所	総務部長
//	井上 守	砂川市役所	政策調整課 課長
//	谷地 雄樹	砂川市役所	政策調整課企画調整係 係長
//	藤田 美穂	砂川市役所	政策調整課企画調整係 主事
//	佐久間直也	砂川市役所	政策調整課企画調整係 地域おこし協力隊

(2) 平成 29 年度活動報告について

【会議関係】

月 日	事業名等	備考
29.4.19	第 1 回すながわ移住定住促進協議会	29 年度事業計画の決定、事業開始
6.2	北海道移住促進協議会 総会、NPO 住んでみたい北海道推進会議第 1 回勉強会	事務局出席 29 年度事業計画等
9.22	NPO 住んでみたい北海道推進会議第 2 回勉強会	事務局出席 北海道ふるさと移住定住推進センター等について
10.12	第 2 回すながわ移住定住促進協議会	冬期移住体験モニター事業について、平成 29 年度お試し暮らし利用状況について、東京における移住フェア及び相談会について
12.14	北海道移住促進協議会連絡会議、NPO 住んでみたい北海道推進会議第 3 回勉強会	事務局出席 30 年度取り組みの方向性等
30.3.14	空知総合振興局移住・定住推進連絡会議	北海道及び空知総合振興局の移住・定住施策の概要、北海道への移住希望者の最近の傾向について
3.26	第 1 回情報体制部会	平成 30 年度事業計画（案）について
3.26	第 1 回受入宣伝部会	//
3.27	第 1 回生活支援部会	//

【事業関係】

月 日	事業名等	備考
29. 4.1	すながわお試し暮らし事業開始	
4.20	すながわ情報メール配信	担当者変更について
4.20	移住パンフ配置	北海道みりよく発信プロジェクト（札幌）
4.27	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	すながわお試しハウス ゆうわオープンについて
5.1	すながわ情報メール配信	//
5.1	お試しハウスゆうわ利用開始	
5.18	移住パンフ配置	北洋銀行中核 9 支店（札幌）
5.21	移住パンフ配置	すながわ緑と花の祭典
5.23	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	移住フェア・暮らし相談会の開催について
5.29	すながわ情報メール配信	移住フェア・暮らし相談会・本気の移住相談会について
6.21	すながわ情報メール配信	移住フェア・暮らし相談会・本気の移住相談会について（最終案内）
6.23	3市合同移住フェア（砂川市・千歳市・登別市）開催（東京）	相談コーナー設置、移住パンフ・ポケットティッシュ等配布、動画放映
6.24	暮らし相談会（砂川市・千歳市）開催（東京）	相談コーナー設置、移住パンフ・ポケットティッシュ等配布、動画放映
6.25	本気の移住相談会出展（東京）	市町村相談コーナー：移住パンフ・ポケットティッシュ等配布
6.30	すながわ情報メール配信	移住フェア・暮らし相談会・本気の移住相談会報告
7.7	すながわ情報メール配信	お試し暮らし交流会（5月・6月）報告
7.18	移住パンフ配置	ふるさと応援寄附金返礼品同封用

月 日	事業名等	備考
7.21	すながわ情報メール配信	お試し暮らし交流会（5月・6月）報告
7.28	すながわ情報メール配信	アプリ Domingo について
7.28	移住パンフ配置	北洋銀行中核9支店（札幌）
8.2	すながわ情報メール配信	ラブリバー砂川夏まつりについて
8.14	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	すながわお試し暮らし9月以降利用者募集について
8.18	すながわ情報メール配信	お試し暮らし交流会（BBQ）報告
8.22	移住パンフ配置	ふるさと応援寄附金返礼品同封用
8.25	移住パンフ配置	北海道みりょく発信プロジェクト（札幌）
8.28	移住パンフ配置	そらち・デ・ビューフェア in 代々木（東京）
8.31	すながわ情報メール配信	すながわお試し暮らし秋・冬の利用者募集について
9.1	移住パンフ配置	いいとこ撮り北海道2017（札幌）
9.7	すながわ情報メール配信	お試し暮らし交流会（ブルーベリー狩り）報告
9.25	移住パンフ配置	北洋銀行中核9支店（札幌）
9.28	すながわ情報メール配信	お試し暮らし交流会（北築楼）報告
10.13	すながわ情報メール配信	冬期利用促進モニター事業募集について
10.13	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	冬期利用促進モニター事業募集について
10.24	すながわ情報メール配信	なかそらち住みます芸人、スイーツフェスタについて
10.25 ～10.27	なかそらち住みます芸人 砂川市滞在	なかそらち住みます芸人「桂三段」氏 お試しハウスゆうわ滞在
10.27	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	上半期活動報告
12.1 ～12.8	北海道移住まるごと体験モニター （北海道移住希望者等マッチング事業）	北海道移住まるごと体験モニター（北海道移住希望者 等マッチング事業）
12.14	すながわ情報メール配信	そらち・デ・ビューフェア in 札幌について
12.26	すながわ情報メール配信	そらち・デ・ビューフェア in 札幌の報告、2017年 振り返り（前編）
12.28	すながわ情報メール配信	2017年振り返り（後編）
30.1.12	すながわ情報メール配信	年始の挨拶、冬のフェスティバルについて
1.15	移住パンフ配置	北海道みりょく発信プロジェクト（札幌）
1.29	移住パンフ配置	北洋銀行中核9支店（札幌）
2.7	すながわ情報メール配信	北海道移住希望者等マッチング事業（前編）
2.8	平成30年度お試し暮らし一斉募集周知依頼等	北海道移住協議会（HP、メールマガジン掲載）、北 海道地域政策課メールマガジン掲載、各種HP更新
2.8	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	平成30年度お試し暮らし一斉募集
2.14	すながわ情報メール配信	平成30年度お試し暮らし一斉募集予告について
3.7	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	平成30年度お試し暮らし二次募集（通常受付）開始
3.12	すながわ移住情報（市ホームページ）更新	空き状況カレンダー更新
3.23	すながわ情報メール配信	平成30年度お試し暮らし二次募集、空き状況カレン ダー、北海道移住希望者等マッチング事業（後編）
3.26	移住パンフ配置	北洋銀行中核9支店（札幌）

※その他、地域おこし協力隊Facebook 投稿記事 221件（H29.4.1～H30.3.31）

▼「3市合同移住フェア（砂川市・千歳市・登別市）」開催について

日 時 平成 29 年 6 月 23 日（金） 13:00～20:00

場 所 移住・交流情報ガーデン（東京）

来場者数 40 名（内アンケート回収 25 名、情報メール登録 14 名）

参加者 情報宣伝部会 増田拓也部会長、受入体制部会 多比良和伸氏、
企画調整係長 谷地雄樹、同地域おこし協力隊 佐久間直也

内 容 砂川市、千歳市、登別市の3市合同で初めて開催した本事業は、3市でそれぞれブースを設け、相談コーナーやパンフレットコーナーの設置、地域おこし協力隊によって作成された PR 動画の放映、ポケットティッシュの配布を実施した結果、25 名の方からアンケートを回答いただき、その内 14 名の方に「すながわ情報メール」を登録いただきました。

20 代から 80 代まで幅広い年齢層の方の来場がありましたが、呼び込みにより来られた方がほとんどだったため、アンケート内の「移住を検討しているか」の設問に「検討している」と答えた方は全体の 5 分の 1 程度でした。持ち込んだパンフレットを活用しながら、砂川市について説明したところ、まず観光として行ってみたいとの声が多数挙がり、移住を検討していただくという段階まではいきませんでした。市の PR としては一定の効果がありました。来場者プレゼントとして用意したすながわスイーツも大変好評でした。



【相談を受ける増田部会長と事務局】



【PR ティッシュを配布する多比良氏】

○課題

- 道外在住者にまずは砂川市の住み良さや魅力を知っていただき、それをきっかけに、移住へ向けて検討していただけるよう今後も継続的に PR を行う必要があると考えます。
- 来場者の人数が前年度を下回り、移住を検討している方の来場が少なかったため、今後同様のフェアを開催する場合は、移住を検討している方へより効果的な情報発信ができることを念頭に、フェアの会場、内容等の検討を行うとともに、実施にあたり移住以外のふるさと納税などもあわせて PR し、誘客策としてノベルティの配布や試食の実施、会場内装飾の充実が必要と考えます。

▼「暮らし相談会（砂川市・千歳市）」開催について

日 時 平成 29 年 6 月 24 日（土） 11:00～18:00

場 所 東京交通会館 8 階 どさんこ交流テラス（東京）

来場者数 5 組（内アンケート回収 5 名、情報メール登録 5 名）

参加者 情報宣伝部会 増田拓也部会長、受入体制部会 多比良和伸氏、
企画調整係長 谷地雄樹、同地域おこし協力隊 佐久間直也

内 容

本事業も 3 市合同移住フェア同様、平成 29 年度初めて開催しました。普段は北海道全体の相談窓口であるどさんこ交流テラスにおいて、砂川市と千歳市で窓口を 2 つに分け開催した本相談会は、事前に相談予約を北海道移住支援員に受け付けていただき、また、普段窓口に来られる移住希望者に対して、移住支援員から直接本相談会の PR をしていただきました。当日は 5 組の方に来場いただき、半分以上の方が完全移住もしくは二地域居住を視野にいれていました。

前日の「3 市合同移住フェア」と比較すると、来場者数は少ないですが、全体的に移住についての関心は高く、来場者全員が「すながわ情報メール」の登録をされていきました。中には出産を控えており、子育て環境の良いところへの移住を希望されているご夫婦や、完全移住を希望しているため移住先での仕事情報について質問されるご夫婦もいらっしゃいました。砂川市の子育て支援制度についての情報や仕事情報を、持ち込んだパンフレットやタブレットを活用して提供し、砂川市での移住後の暮らしについて具体的にイメージしていただきました。その他にも、来場者の内 1 組が、その年 9 月にすながわお試し暮らしをご利用くださり、市の PR として一定の効果がみられました。



【各都道府県相談窓口の様子】



【どさんこ交流テラスの様子】

○課題

- 仕事情報については、ハローワークの求人票、インターネットハローワーク、シゴトガイド（冊子）を活用しながら提供しましたが、今後は砂川市内の各種企業について、詳細な情報が掲載されている企業労政係作成のパンフレットなども活用し、より具体的な情報提供が必要と考えます。

▼「本気の移住相談会」開催について

日 時 平成 29 年 6 月 25 日 (日) 10:30~16:30
場 所 芝パークビルB館地下1階 AP浜松町(東京)
参加市町 砂川市を含む 20 自治体 6 企業
来場者数 91 組 146 名 (砂川市事前予約 15 組 22 名)
参加者 情報宣伝部会 増田拓也部会長、受入体制部会 多比良和伸氏、
土地開発公社業務課副審議監 岩淵真里子、企画調整係長 谷地雄樹、
同地域おこし協力隊 佐久間直也

内 容 会場内の相談コーナーにおいて、15 組の方にアンケートを記入いただき、その内 11 組の方から「すながわ情報メール」の登録を受けました。

20 代の現役世代から 70 代のシニア世代まで、幅広い世代が来場し、特に 20 代から 40 代の現役世代は仕事や地域の医療面に関心が高かったのが印象的でした。仕事の面については、就農や地域おこし協力隊を検討している来場者もあり、様々な分野の仕事を視野に入れている傾向がみられました。中には、地域おこし協力隊として農業支援を受けながら実地で経験を積み、就農につなげることができないかといった具体的な相談もありました。



【本気の移住相談会会場の様子】



【砂川市相談コーナーの様子】

○課題

- 本相談会では3分の2以上の方が情報メールを登録してくださり、その後の接触にもつなげることができていることから、ニーズがあった情報について、定期的に発信していくことが必要と考えます。
- 仕事情報については、ハローワークの求人票、インターネットハローワーク、シゴトガイド(冊子)を活用しながら提供しましたが、今後は砂川市内の各種企業について、詳細な情報が掲載されている企業労政係作成のパンフレットなども活用し、より具体的な情報提供が必要と考えます。

▼「すながわ お試し暮らし」冬期移住体験モニター事業について

内容 本事業は、お試しハウスの冬期間の利用促進および積雪地で冬の生活を体験したことのない移住希望者が持つ不安や抵抗感を解消することを目的に、各種 Web 媒体を活用した情報発信を通して、体験者に砂川

「冬のすながわ生活体験モニター」募集のお知らせ！

来て！撮って！アップして！

インターネット通信料無料 家賃無料

北海道での生活に興味はあるけど雪が心配
北海道に長期滞在してみたいけど費用が
夏はもう十分。あとは冬だけだ！

って方に、**朗報です！**

冬の体験・魅力をSNSなどで発信してもらえれば..
お試しハウス家賃無料！かかるのは交通費と生活費のみ！
冬のアクティビティ、除雪、雪道の歩き方など、全力サポート！

<移住体験モニター実施期間>
平成30年1月9日～平成30年3月9日
のうち最長2か月

<募集人員>
若干名 ※積雪地での長期滞在未経験者、Web/SNSや動画での情報発信が可能なら

SNSネタの宝庫、冬の砂川をぜひ体験ください。

【問い合わせ先】
北海道砂川市役所政策調整課企画調整係 TEL 0125-54-2121(内線 322、326)

市での冬の生活体験の様子を発信していただくといった内容で企画しました。平成29年10月から体験者の募集を開始し、その結果、当初2組の応募がありました。ご本人の都合により2組とも辞退されました。砂川市ホームページや地域おこし協力隊 Facebook、各種移住関連ホームページで応募を呼びかけましたが、従来冬の北海道の生活に興味のある移住希望者が少ないこともあり、応募者数が伸びなかったと推測されます。

本事業の実施はかないませんでした。平成29年度夏期、冬期にすながわお試し暮らしを利用された方がブログを運営しており、写真や動画を活用しながら、砂川市でのお試し暮らしの様子を独自に細かくアップして下さっています。ご本人の許可を得て、本ブログについて地域おこし協力隊

Facebookで紹介し、当初の冬期移住体験モニター事業の目的である、砂川市での冬の生活体験についての情報発信につなげることができました。

今後も冬期の生活に不安を持つ移住希望者に対して、本ブログを紹介させていただき、冬期生活に対する不安や抵抗感の解消につなげていきます。

▼北海道移住まるごと体験モニター（北海道移住希望者等マッチング事業）について

主催	北海道（NPO 法人住んでみたい北海道推進会議）
応募市町村	18市町村
応募者	総数26組（内 砂川市への応募者4組）
利用者	砂川市 1組（愛知県在住の女性）
実施期間	平成29年12月1日（金）～平成29年12月8日（金） 8日間
内容	本事業は北海道が主催となり、道外に在住する北海道への移住を真剣に検討している現役世代を対象に、体験移住と移住後の「しごと」・「住まい」・「暮らし」の体験や調査を行うことで、移住希望者とまちのマッチングを図るものです。砂川市には4名の応募があり、北海道（NPO 法人住んでみたい北海道推進会議）による選定の結果、その内1名が利用者として選ばれました。利用者に砂川市を選んだ理由をうかがったところ、札幌市と旭川市の間に位置しているため、どこへ行くにも便利だと感じたこと、介護職の就業体験ができることが、砂川市を選んだ決め手になったとのことでした。

お試し暮らしをしながら、福寿園での就業体験や、(株)サワケンによる物件相談を通して、実際に砂川市で生活をした場合の職や住居について

リアルなイメージを持っていただきました。その他にも、地元の人々とふれあう機会として公民館でのサークル活動や、すながわスイーツロード巡りをスケジュールに組み込み、砂川市の魅力を伝えました。

最終日の報告会では、北海道での冬の生活体験が初めてだったこともあり、開始前から車の運転や除雪に対する不安が大きかったこと、実際に体験してみると思っていた以上に毎日大変だったことなど、率直な感想をいただきました。その反面、仕事については福寿園の方針や施設内の雰囲気を感じてくださり、福寿園の職員とも積極的に連絡先の交換を行うなど、砂川市での就労に良いイメージを持っていただけました。このつながりを大切に、今後も定期的に接触を図っていきます。



【すながわスイーツロード巡りの様子】



【福寿園における就業体験の様子】

▼「なかそらち住みます芸人」事業について

主催
内容

中空知定住自立圏構想推進会議

中空知 10 市町で実施している中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援事業」の一環として、札幌よしもと所属の芸人 2 組が中空知に住みながら各市町を紹介していく事業であり、砂川市には「桂三段」氏がお試しハウスに住みながら 10 月 25 日から 27 日の 3 日間滞在しました。滞在中は、砂川市内各所を巡り、出会った人々と撮影した写真をツイッターにアップをするほか、砂川市へ平成 28 年度に移住された方に対するインタビュー動画を撮影するなど、移住希望者に向けた PR を行いました。また、実際に滞在したお試しハウスについても、「桂三段」氏自ら、室内をコミカルに紹介した動画を撮影され、ツイッターで紹介いただきました。



【市内各所を巡り写真を撮影する桂三段氏】

▼「すながわ お試し暮らし」について

29年度は14組31名の実績でした。うち、3番および14番の児島さんは、冬の砂川市もぜひ体験したいとのことで、2回の利用があったところです。完全移住の希望者や東京での移住相談会来場者の利用があり、移住の実現へ向けた手応えを感じられる内容となりました。滞在中は、協議会会員のご協力のもと利用者との交流会も行われ、砂川の生活を体験するだけでなく、より深く砂川を知っていただく良い機会になっております。

お試し暮らし利用者及び活動内容一覧

番号	名前	住所	班	滞在期間	活動内容	参加者
1	K様夫妻	神奈川県横浜市	1班	5/10～7/10	市内案内、交流会（パークゴルフ、リヴィスタで食事会）	増田、池内、金丸、野田、事務局
2	S様夫妻	埼玉県ふじみ野市	1班	5/29～6/19		
3 (14)	K様夫妻	福岡県糟屋郡粕屋町	1班	6/7～6/30、 1/15～2/20	市内案内、交流会（夏：パークゴルフ、口福厨房で食事会、冬：ワカサギ釣り、風露で食事会）	岡本、小田、多比良、事務局
4	S様夫妻	愛知県名古屋市	1班	7/3～7/20	市内案内、交流会①（パークゴルフ、ろくで食事会）	事務局、農政課職員
5	K様夫妻	兵庫県神戸市	1班	7/4～7/20		
6	T様夫妻	大阪府大阪市	3班	7/13～7/19	市内案内 交流会は未実施（短期）	事務局
7	T様ご家族	神奈川県横浜市	2班	7/21～8/10	市内案内、交流会（子どもの国バーベキュー）	岡本、池内、小田、多比良、事務局
8	I様夫妻	京都府城陽市	3班	7/24～8/23	市内案内、交流会（ブルーベリー狩り、口福厨房で食事会）	増田、渋谷、中山、事務局
9	E様夫妻	千葉県柏市	2班	7/27～8/22		
10	N様夫妻	宮崎県延岡市	3班	8/16～9/1	市内案内、交流会（北菓子楼で茶話会、泰弘膳で食事会）	池内、奥山、野田、事務局
11	Y様	神奈川県茅ヶ崎市	2班	8/25～9/5		
12	I様ご家族	岡山県岡山市	1班	8/30～9/6	市内案内 交流会は未実施（短期）	事務局
13	M様	千葉県佐倉市	1班	9/8～9/29	市内案内、交流会（石山ハイキング、ミングルで食事会）	多比良、渋谷、野田、事務局

（敬称略）

○交流会の様子



【6/5 パークゴルフ交流会】



【6/15 パークゴルフ交流会】



【8/7 子どもの国バーベキュー交流会】



【8/9 ブルーベリー狩り交流会】



【9/27 石山ハイキング交流会】



【9/27 ハイキング後の昼食会】



【1/27 ワカサギ釣り交流会】

- 「お試しハウス」声かけ等
 - 協力者 吉野第3町内会のみなさん
 - 北光第一町内会のみなさん
 - 友和町内会のみなさん

参 考 【お客様アンケートより（抜粋）】

- 「お試し暮らし」を利用された目的などについて。（複数回答）

移住候補地探し … 10 シーズンステイ … 16
 二地域居住地探し … 9 観光として … 5

- お試し暮らしをどのように知ったか。（複数回答）

インターネット … 21 北海道暮らしフェア … 12
 移住交流・情報ガーデン … 1 人から聞いて … 4
 どさんこ交流テラス … 1 新聞 … 1

- 滞在地の暮らしやすさ（満足度）

大満足 … 10 満足 … 12 普通 … 3

（雪かきを除けばとても暮らしやすい。スーパーが近くにあり、スポーツ施設・医療施設が整っていた。大きな病院があり安心感があり、公園がたくさんあって散歩が出来たのも良かった。子どもが遊べる場所が近くにあり良かった。人が親切で景色や環境に趣がある。）

- 11月～3月の冬期に滞在したいと思うか。

思う … 15 （理由：何度か違うタイプの冬を体験して、移住に問題ないか確認したい。移住するとしたら、冬期はどの程度の寒さか、自分の健康状態で耐えられるか確認したい。雪国で生活したことがないため体験したい。冬を体験しなければ移住可能かどうか判断できないため。）

思わない … 11 （理由：車の運転の経験が無く、家の中にいるだけになりそう。寒い。年齢的に厳しい。生活の厳しさを考えると自信がない。）

- 北海道への移住を考えるか。

はい … 32 （完全移住 … 7 時期：現在の家を処分してから、1年半後、
 二地域居住 … 8 時期：3年後、条件が合う町があり次第
 シーズンステイ … 17 時期：来年以降、家族と相談後）

いいえ … 1

4. 協議事項

(1) 平成30年度事業計画(案)について

すながわ移住定住促進協議会では、19年度の設立以降、ホームページやSNS、パンフレット等を活用した情報発信や、移住相談会への出展および自主事業の実施による市の魅力や住み良さのPR、また、移住希望者が必要とする情報の収集と提供、移住希望者のサポート及び受入環境整備など様々な取り組みを行ってきました。

特に、現在の活動の軸となっている「すながわお試し暮らし」事業は、21年度の事業開始以来、例年抽選を行うほど多くの申込みをいただいております。

依然として北海道への移住に興味がある方は多く、近年ではリタイアしたシニア世代のほかに、現役世代でも移住を希望するケースが増加してきておりますので、引き続き、子育てや就職・起業に関する情報を収集し、サポート及び受入環境の整備が必要不可欠です。また、29年度の首都圏における自主事業の来場者の中には、実際にお試し暮らしを利用してくださった方もいたことから、道外在住の移住希望者の掘り起こしは継続的に続けていく必要があります。

したがって、30年度においても、引き続き首都圏での情報発信事業を実施するほか、各種情報の収集・提供を継続的に行い、幅広い世代に対するサポート体制を整えます。また、民間中古住宅を活用した移住体験住宅2棟の賃貸借契約が終了することから、移住体験住宅の新規整備にも取り組みます。

▼移住関連予算について

①「お試し暮らし」経費	1,908千円
建物借上料 1,260千円、消耗品 60千円、修繕料 65千円、 手数料 37千円、火災等保険料 12千円、委託料 162千円、 備品購入費 150千円、その他 162千円	
②北海道移住促進協議会負担金	50千円
③地域おこし協力隊経費	4,227千円
隊員人件費 1,992千円、隊員旅費 162千円、 建物借上料 1,188千円、その他 885千円	
④移住定住情報発信事業経費	316千円
本気の移住相談会および暮らし相談会出展事業 316千円	
合 計	6,501千円

▼情報宣伝活動について

平成 28 年度から出展している「本気の移住相談会」へ引き続き出展及びどさんこ交流テラスにおける自主事業「暮らし相談会」の開催を通じて、北海道への移住希望者と直接顔を合わせ、情報発信を行います。

○本気の移住相談会への出展

東京で開催される「本気の移住相談会」に引き続き出展し、移住支援施策や各種制度、仕事や住宅に関する情報を効果的に案内することで、来場者に対して直接砂川市を PR します。来場者には「すながわ情報メール」の登録や Facebook の閲覧を積極的に呼びかけ、こちらからアプローチできるような体制づくりを目指します。

○自主事業「暮らし相談会」の開催

東京で開催される「本気の移住相談会」の出展にあわせ、北海道全体の相談窓口であるどさんこ交流テラスにおいて、「暮らし相談会」を開催します。「本気の移住相談会」同様、首都圏の方に砂川の地名を広く知っていただき、移住を考えるきっかけを作るため、観光や特産品、子育て、医療・福祉、仕事、住宅などの各種支援策などを総合的に紹介します。29 年度に開催した際には来場者がその後実際にお試し暮らしを利用するなどの一定の効果が見られましたので、今年度も引き続き開催します。

○インターネットを活かした情報発信事業

市ホームページ（すながわ移住情報）や移住関連のホームページ（北海道移住促進協議会（NPO 法人住んでみたい北海道推進会議）、（一社）移住・交流推進機構（JOIN）、そらち・デビュー、Domingo など）を活用し、砂川市の魅力を全国へ伝えていきます。また、「すながわ情報メール」と、地域おこし協力隊による Facebook も並行して配信し、道内・道外問わず、移住を希望されている方へ砂川の気候や行事、施策、食、仕事、住宅、お試し暮らしについての情報を届け、より多くの移住希望者とコンタクトを取ります。

【すながわ情報メール登録者数 H30.3.31 時点 879 名（昨年同月末 746 名）】

【地域おこし協力隊 Facebook フォロワー数 H30.3.31 時点 1,004 名

（昨年同月末 818 名）】

○北海道移住促進協議会等と連携した PR 活動の実施

北海道移住促進協議会のホームページ及びメールマガジンの活用や、大都市圏でのプロモーション活動時にパンフレットの配置などにより、広く砂川市の情報を発信していきます。

▼受入体制活動について

「すながわ お試し暮らし」は、実際に砂川での生活を体験することで移住後の暮らしをイメージしていただき、移住の決定を後押しする事業です。28年度からシーズンステイ希望者の利用を可能とし、1週間からの滞在を許可することとしました。現在、3棟の移住体験住宅で事業を展開しており、利用ニーズにも一定程度応えられています。30年度においても、お試し暮らし事業を軸とし、利用者に総合的な情報の提供を行います。また、30年度においては、民間中古住宅を活用した移住体験住宅2棟の賃貸借契約が終了することから、新たに2棟の民間中古住宅を公募します。

○移住体験「すながわお試し暮らし」事業・・・資料

これまで旧医師住宅1棟と民間中古住宅2棟の計3棟を活用してきましたが、民間中古住宅「お試しハウスゆうわ」は平成30年9月末（継続交渉中）、「お試しハウスほっこう」は平成31年3月末をもって賃貸借契約が終了することから、新たに2棟の民間中古住宅を公募し、整備を行います。

○住情報提供事業

お試し暮らし利用者からの希望があった際には土地開発公社、宅地建物取引業者などによる分譲地や不動産物件案内、新築住宅相談を実施します。

○短期滞在者用宿泊案内

旅館組合等と連携を図りながら短期滞在希望者にも対応し、市内案内・物件案内などのフォローをしながら、観光とは違った視点から砂川のまちを見ていただくことで、移住へのステップアップを図ります。

▼生活支援活動について

移住者やお試し暮らしの体験者が、北海道独特の生活スタイルなどに対し疑問に思ったり困ったりした場合の相談に応じるなど、砂川での暮らしをより充実したものとなるようサポートします。

○新生活における一体的なサポート

移住者に対して、生きがい探し、衣食住、悩みなど、「すながわ暮らしサポーター」となって相談に応じます。

○「お試し暮らし」におけるサポート

移住者に対するサポートと同様に、お試し暮らしの体験者に対しても、市内案内や町内会関係（ルール）等、砂川での暮らし方についての相談に応じます。

【協議会（事務局）によるサポート体制】

◇市内案内

一人ひとりの意向に沿い、市内の生活利便施設、観光的要素のある公共施設、その他希望する施設を案内します。

◇市内等での過ごし方

・各種イベント、市民活動の情報提供

市内各団体や企業、公民館グループ・サークルに協力を求め、砂川の文化芸術にふれていただくほか、イベントなどの各種行事についても随時情報提供を行います。

・滞在中の交流活動

協議会会員を3班に分け、交代で滞在中の体験者との交流を深めます。

歓迎交流会や市内イベントへの招待など、体験者との交流を通して北海道の生活や砂川の魅力などを紹介し、移住に対する不安の解消を図ります。（別紙）

・その他お客様の要望を伺い対応します。

【町内会によるサポート体制】

ゴミステーションの利用など町内で生活する心得や、町内会行事を交流の場として活用したりするほか、近所にお住まいの町内会役員やボランティアなどには日常的な相談相手として、目配り役となっていただきます。

平成30年度「すながわ お試し暮らし」実施要領

【実施目的】

砂川市に興味や関心を持つ方の、移住へのステップアップを図る。

【実施内容】

生活用具を備えた長期滞在が可能な住宅を移住希望者に提供し、砂川市での暮らしぶりを体験していただく。

募集にあたっては、公平性を考慮して当初募集期間を設け、抽選により体験者の優先順位を決定し、募集期間を過ぎた段階で、随時予約を受け付けることとします。

【募集期間】

募集期間…平成30年2月19日～3月5日 抽選日…3月6日

※募集期間終了後は、随時受付（30年度分に限る）

【利用期間】

平成30年4月23日～平成31年3月29日

※2週間（14日間）以上、2カ月間以内の利用とします。

【利用施設の名称】



すながわ お試しハウス（よしの）
砂川市吉野1条南7丁目2番21号



すながわ お試しハウス（ほっこう）
砂川市西1条北12丁目1番22号



すながわ お試しハウス（ゆうわ）
砂川市吉野3条南6丁目2番8号

【利用要件】

- (1) 将来、砂川市への移住を検討していること
- (2) 家族・親族、単身者の利用であること（単身者については70歳以下であること）
- (3) 4月～10月の期間で1回、11月～3月の期間で1回、計2回までの利用回数であること
- (4) 事業の趣旨に賛同し、アンケート調査などに協力できること

【体験までの流れ】

- ① 申請書の提出
（動機、希望の移住時期、移住後の希望住居形態などの移住の真剣度合を把握）
- ② 利用決定（却下）通知書を郵送
- ③ 申込書の提出（入退去日時、フェリーや寝具リースの利用の有無などの詳細を確認）
- ④ 確認書を郵送、受付確定
- ⑤ 砂川市に到着後、契約締結、使用料を前納し、体験開始

【費用負担】

- ・ 使用料 1カ月 30千円（よしの）／40千円（ゆうわ）／50千円（ほっこう）
とし、1カ月に満たない場合は、日割り計算とする
- ・ 自宅から砂川市までの往復旅費（商船三井フェリー、津軽海峡フェリーによる割引の利用可）
- ・ 滞在期間中の光熱水費、寝具リース料
- ・ 体験者の過失により生じた施設・備品等の損害額
- ・ その他、食費や日用品に係る費用

【周知・募集方法について】

- ・ 市ホームページ
- ・ すながわ情報メール
- ・ 地域おこし協力隊 Facebook
- ・ 本気の移住相談会及び自主事業等来場者への案内（57名）
- ・ 事前に問い合わせがあった方への案内（5名）
- ・ 過去に「お試し暮らし」を1回体験された方への案内（32名）
- ・ 北海道で暮らそう！メールマガジン（北海道移住協議会）に掲載依頼
- ・ 北の大地への移住情報メールマガジン（北海道総合政策部地域づくり支援局）に掲載依頼
- ・ 各種ホームページへの掲載

北海道で暮らそう！ホームページ内「新着情報」、
JOIN（移住・交流推進機構）ホームページ内「砂川市ページ」、
全国移住ナビ内「砂川市ページ」、そらち・デ・ビュー、
Domingo

平成30年度「すながわ お試し暮らし」民間住宅活用事業 要領

【建物の要件】

- ①建物と土地の両方が同一所有者となっている物件
- ②現況において居住可能な状態のもので、屋根・外壁・土台など構造体および内装などについて修繕の必要がない物件（修繕が必要な場合は所有者負担）
- ③風呂・トイレ・キッチン・暖房設備など、通常の日常生活が送れる設備・備品が完備されている物件
※テレビ・冷蔵庫などの家電および家具などが完備されていない場合は市が負担する。

【実施内容】

- ①物件は、借り上げ開始を平成30年10月からとする物件1棟、平成31年5月からとする物件1棟の計2棟を、賃貸に限定して公募することとし、広報すながわや市ホームページ、Facebookなどで周知を図ります。応募は事務局で受け付け、協議会で審査・決定いたします。
- ②お試し暮らし利用者が負担する家賃は、市が物件所有者に支払う月額と同額とします。上記要件を考慮し、1ヶ月4～6万円を見込んでおります。
- ③借り上げ期間は1年間を基本として、市と所有者が賃貸借契約を締結します。所有者の意向を伺いながら、問題が無ければ毎年度更新いたします。
- ④住宅の補修や修繕などは所有者の負担といたしますが、草刈りや清掃などの維持管理は市が行います。

【スケジュール】

平成30年4月	すながわ移住定住促進協議会 総会
平成30年5月	公募開始
平成30年7月	協議会にて審査・決定
	1棟目 利用申込受付開始
平成30年10月	1棟目 利用開始
平成31年4月	2棟目 住宅準備（家具等の整備）
	2棟目 利用申込受付開始
平成31年5月	2棟目 利用開始

○交流活動における班体制（予定）

1班	2班	3班
池内 一也	北谷 武文	中村 和弘
前田 秀紀	岡本 昌昭	齊藤 邦宏
(砂川観光協会 後任者)	田村 英規	澤崎 賢司
奥山 一枝	小田 繁喜	為国 修一
金丸 秀樹	多比良和伸	奥山 雅喜
野田 勉	青野 英樹	中村 洋
田中 聡秀	渋谷 正人	事務局
事務局	事務局	

○平成30年度 お試し暮らし体験者一覧と交流活動対応班（仮）（H30.4.1現在）

番号	名前	住所	期間	入居予定住宅	対応
1	○様ご夫妻	京都府城陽市	5/22～6/21	ゆうわ	2班
2	F様ご夫妻	静岡県浜松市	5/28～6/8	よしの	3班
3	S様ご夫妻	奈良県葛城市	6/8～6/28	ほっこう	1班
4	A様	兵庫県三田市	7/2～7/10	ゆうわ	2班
5	T様ご夫妻	東京都世田谷区	6/25～7/25	よしの	3班
6	○様ご夫妻	和歌山県和歌山市	7/2～8/10	ほっこう	1班
7	S様ご夫妻	宮城県栗原市	7/13～7/26	ゆうわ	2班
8	H様ご夫妻	東京都江戸川区	7/27～8/6	よしの	3班
9	T様ご夫妻	神奈川県相模原市	7/30～8/29	ゆうわ	2班
10	M様ご夫妻	兵庫県多可郡多可町	8/8～8/31	よしの	3班
11	G様ご夫妻	埼玉県鴻巣市	8/14～9/28	ほっこう	1班
12	H様ご夫妻	大阪府堺市	9/4～9/19	ゆうわ	2班
13	N様ご夫妻	愛知県名古屋市	9/5～9/25	よしの	3班

※ 今後、体験者の入居日については変更の可能性もありますのでご了承ください。